手術についての説明内容

平成　　年　　月　　日

病　　名	（　右　・　左　）乳癌	
術　　式	（　右　・　左　）胸筋温存乳房切除術	
手術法の概略	大胸筋・小胸筋を残し、乳房全体を切除する方法です。 基本的には乳頭・乳輪も切除します。また腋窩リンパ節を郭清します。術後は腋窩へ細いドレナージチューブを挿入します。	
麻　酔　法	全身麻酔　　局所麻酔	
輸血の必要性	有　・　無	
予定術者		
起こり得る合併症	出血、皮下血腫の形成、創部の感染とそれによる治癒の遅れ 上肢の知覚障害・運動障害、　上肢のむくみ、リンパ液の貯留、疼痛、皮膚のやけど	
添付資料	有（　　）・　無	
患者さんからの質問と医師の説明	患者さんからの質問	医師の説明
（他の治療法の選択についてなど）		

乳腺一般外科　説明医師＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

順天堂大学医学部附属　順天堂医院

胸筋温存乳房切除術説明書

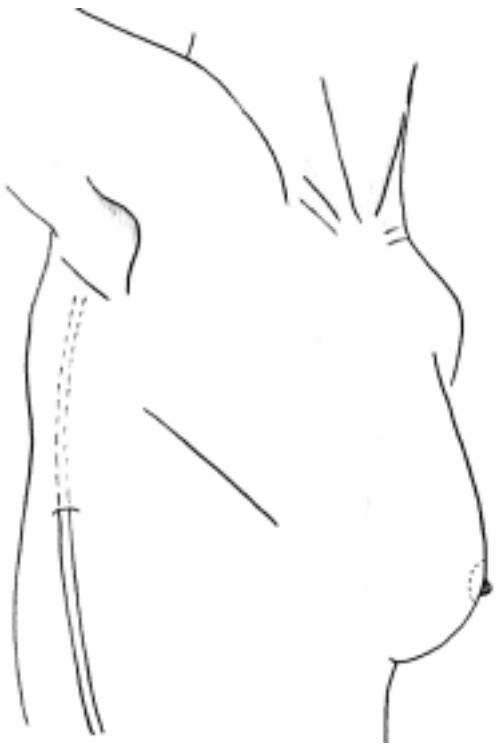
乳房全体を切除するために、乳頭・乳輪および腫瘤直上の皮膚を含めた必要最小限の皮膚切開をおきます。(腫瘤の場所や大きさによって皮膚切開の幅や範囲は変わってきます。)

更に腋窩にもリンパ節郭清のために約５cm 幅の皮膚切開を入れます。

大胸筋・小胸筋は切除せず、すべての乳腺組織を皮膚および胸筋から剥離し切除します。

腋窩リンパ節を郭清します。郭清の範囲は術中所見により多少異なってきますが基本的には小胸筋外縁よりも外側の領域の level Ⅰ リンパ節と小胸筋外縁から内縁までの領域の level Ⅱ リンパ節までを郭清します。

前胸部と腋窩に直線状の創が図のように２ヶ所に出来ます。



腋窩、および前胸部に血液・リンパ液が貯留するのを防ぐために腋窩に細いドレナージチューブを１本挿入します。このチューブには持続吸引バッグが接続され、血液やリンパ液が貯留されますが、バッグの内容液が１日約 20ml 以下になれば、このチューブを抜去します。

チューブの挿入部の創は翌日にはふさがりますのでシャワー・入浴が可能になります。